

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 長良川流域滞在型観光推進プロジェクト事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部 観光国際政策課
サステイナブル・ツーリズム推進室
サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111(内3915)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,000 千円 (前年度予算額： 4,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,000	2,000	0	0	0	0	0	0	2,000
要求額	4,000	2,000	0	0	0	0	0	0	2,000
決定額	4,000	2,000	0	0	0	0	0	0	2,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

平成27年12月に「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されたことを契機に、長良川上・中流域の周遊・滞在型の観光地づくりを加速度的に推進するため、県及び流域4市(岐阜市、関市、美濃市、郡上市)の官民が連携し、「長良川流域観光推進協議会」を世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会内の専門部会として設立。

平成28年度から、情報発信、観光マーケティング調査、常時提供可能な体験プログラムの造成、流域内の交通事業者と連携した周遊滞在型商品の造成などを進めてきた。

令和3年10月に長良川流域がサステイナブル・ツーリズムの国際認証機関による「世界の持続可能な観光地100選」に選ばれたことを契機に、地域関係者が一体となった持続可能な観光地域づくりを加速させるとともに、サステイナブル・ツーリズムに積極的に取り組む地域としてのプロモーションを展開していく。

(2) 事業内容

県と長良川流域の4市(岐阜市、関市、美濃市、郡上市)が連携して、長良川上・中流域を周遊・滞在させる観光地域づくり事業を推進

協議会事業【事業費：8,000千円(うち県費：4,000千円)】

- ・情報発信体制の強化
- ・観光マーケティング調査の実施 等

(3) 県負担・補助率の考え方

協議会事業は、県が4,000千円、4市が各1,000千円負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	4,000	協議会負担金
合計	4,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2) 次世代を見据えた産業の振興
 - ④世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり
- 岐阜県経済・雇用再生戦略
 - 6 世界に選ばれる持続可能な観光地域づくりプロジェクト<サステイナブル・ツーリズムの推進>
 - (1) 地域資源の保全・活用による観光地域づくり
- 第2期 世界農業遺産保全計画
 - 8 6次産業化の推進
 - (2) 流域の観光資源のブラッシュアップと国内外からの観光誘客

(2) 後年度の財政負担

県と4市が連携して広域的な観光振興に取り組むため、協議会で実施することが妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

長良川流域周辺の観光資源や旅行プランを積極的にPRすることで、観光入込客、宿泊客を増やし、観光消費額の増大を図る。

- 観光消費拡大につながる質の高い観光資源づくり
- 主要観光地の魅力を活かした観光誘客プロモーション
- 世界に選ばれる観光地づくり

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		2,702億円	2,900億円	3,100億円	3,600億円	75.1%
②観光入込客数 (実数)		4,263万人	4,750万人	4,800万人	5,300万人	80.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトコンテストの実施 ・体験プログラムのブラッシュアップ、PRツールの再編 ・自転車を活用した周遊型体験プログラムのPR動画作成 ・地酒を活用した土産品造成及び情報発信の実施
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・県営公園での観光キャラバン ・長良川流域を紹介する巡回パネル展の開催 ・PRツールの作成
	指標① 目標：1,900億円 実績：1,721億円 達成率：90.6%
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・サステイナブル・ツーリズムの理解促進を図るための研修会の開催（1回） ・流域の観光関係者による意見交換会の開催（4回） ・サステイナブルな観光プログラムの定番商品化（4商品） ・大規模観光展への出展 ・白川村との連携（TOP100選コラボ企画、パネル展）
	指標① 目標：2,400億円 実績：2,702億円 達成率：112.6%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	観光滞在時間及び観光消費額の増大を図るためには、長良川流域周辺に存在する観光資源を連携させ、観光客を周遊・滞在させる仕組みを作ることが必要であり、本事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	本事業を通じ、4市連携の取り組みが進んできた。また、今までエリア内に無かった、周遊滞在を喚起する仕組みや広域プロモーションがはじまった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	県及び4市が共通の課題に対して一体的に実施することにより、効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・ 長良川流域の認知度向上 ・ エリア内における持続可能な観光地経営に向けた体制の構築 ・ 長良川流域における観光マーケティング及びターゲット設定 ・ インバウンドへのプロモーション及び受入環境整備
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>協議会の事業の方向性について、関係者間で協議しながら進めていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】